【今回の改定の視点】

【社会経済情勢の変化】
・新型コロナウイルス感染症の拡大
・デジタル化の急速な進展

【H29以降　区が進めてきた施策】
・ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

・ユニバーサルデザインまちづくりの推進
・景観まちづくりの取組

【まちづくりの取組が進展したエリア】
・飯田橋駅東口周辺
・高田馬場駅周辺　・中井駅周辺
・新宿駅直近　・新宿駅東口
・新宿駅西口　・歌舞伎町

（新規エリア）
・西早稲田駅周辺

本日の検討内容

左の図の枠で囲まれたものは、**現在のまちづくり戦略プランの視点にないもの**又は**特に大きく取組を進めているもの**であるため、本日の検討部会で改定の視点として議論します。

また、新たに設定するエリアについても、内容の検討を行います。

1　改定の視点
⑴ 新型コロナウイルス感染症の拡大とデジタル化の進展

⑵ ゼロカーボンシティの実現に向けた取組

2　新たに設定するエリア「西早稲田駅周辺」

※その他の内容については、現在のまちづくり戦略プランの延長線上で進めている内容のため、**次回（７月）の検討部会で具体的な内容を確認**していきます。

国土交通省

「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会中間とりまとめ報告書」
（令和３年４月）

※国土交通省都市局で、令和２年10月～令和３年３月にかけて開催した「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会」で検討した結果を取りまとめたもの。

東京都

「未来の東京」戦略 version up2022（東京都・令和４年２月）

※新たな都政の羅針盤として策定する東京都の総合計画であり、「まち・ひと・しごと創生法」第９条第１項にいう「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置付けたもの。

新宿区内の各エリアにおけるまちづくりの取組

新型コロナウイルス感染症の拡大以降も継続して、まちづくりの方針等を検討しているエリア

新宿三丁目駅周辺（新宿駅東口）　／　西新宿地区（新宿駅西口）

高田馬場駅周辺エリア（高田馬場駅周辺）　／　飯田橋駅前地区（飯田橋駅東口周辺）

上記の内容を確認後、今回の改定の視点について検討します。

2⑴「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会中間とりまとめ報告書」（令和３年４月・国交省）

出典:「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会中間とりまとめ報告書」（国土交通省・令和３年４月）をもとに事務局が抜粋及び一部加筆し作成

【新型コロナ危機を契機に生じた変化】

在宅勤務・テレワークの急速な進展　／　自宅での活動時間の増加　／　公園等の自宅周辺環境の利用者の増加

「働き方」や「暮らし方」に対する人々の意識や価値観にも変化・多様化が生じている

在宅勤務・テレワークを機に通勤時間や固定的な勤務形態から解放

- **時間価値**の重要性
- **ワークライフバランス**重視

- 自宅周辺の**サテライトオフィス**や**コワーキングスペース**など、職住近接を支える施設
- オフィスとテレワークを組み合わせた働き方への志向
- リアルのコミュニケーションの場としての**良質なオフィス空間**

自宅や自宅周辺で過ごす時間の増加

- **公園などの憩いの場、自転車や徒歩で回遊できる空間**
- 公園などの屋外空間は、過密を避けながら様々な活動を行うことができる場としてのニーズ

- **買物やエンターテイメント**など日常生活における**インターネットの利用**の機会が増大

⇒業務、商業、住宅といった身の回りにおける様々な機能をバランス良く融合させた**都市機能の充実、良質なオフィス環境**や**自宅以外のワークプレイスの整備**、**ゆとりある屋外空間**や**回遊空間の構築**などが求められるようになっている。

【都市圏レベルの取組】

- 問題となる過密とは、**マクロの都市機能の集積の問題というよりも、むしろ感染症対策の観点からの個々の施設の内部空間における過密**である
- 都市政策の観点からは、都市機能の集積を図る上で、**ゆとりあるオフィス空間**や**オープンスペース等の確保**によるニューノーマルへの対応をいかに進めるかという課題に対応する必要がある。

【人間中心・市民目線のまちづくり】

比較的狭いエリアを対象とし、市民目線できめ細やかに地域の課題解決や価値創造を図るため、**官の空間整備と民間の活力との連携**により**居心地の良さ**や**賑わいの創出**といった**人間中心のまちづくり**を進める取組は、「ニューノーマル」がもたらした「働き方」や「暮らし方」に対する意識・価値観の変化・多様化への対応には有効であり、引き続き重要である。

出典:「デジタル化の急速な進展やニューノーマルに対応した都市政策のあり方検討会中間とりまとめ報告書」（国土交通省・令和３年４月）をもとに事務局が抜粋及び一部加筆し作成

都市の特性に応じたまちづくり

大都市では、国際競争力を高めるため、**クリエイティブな人材等を惹きつける環境**の整備、多様な主体が交わり**イノベーションを生み出すコミュニティハブ**の形成、**昼間だけでなく夜間も含めた文化・芸術**などリアルの場ならではの価値の充実などを図る必要がある。

また、様々な背景を持つ人々の多様性（ダイバーシティ）を受け入れる**インクルーシヴな都市として皆が居心地の良さを感じられる空間**とするとともに、**都市機能の高度化**を徹底的に追及した拠点を形成する必要がある。

加えて、**新たなビジネスやイノベーション**を生み出すエンジンとしての役割を果たすとともに、今後のニューノーマルと“Back to Normal”の最適点を見出していくためにも、「都心の実験区」としての機能を持つことが求められる。

実際の取組事例

※以下の事例については、事務局が作成。

●人中心のまちづくり
●官民連携による居心地の良さや賑わい創出

公開空地の利活用(西新宿)

新宿通り（SHINJUKU STREET SEATS）

●自動運転の実証実験

自動運転バス（西新宿）

●スマートシティの取組

スマートポール（西新宿）

●「自由時間が増えた場合にしたいこと」の変化

（出典：内閣府世論調査_23区部分）

	令和元年	令和３年
1位	旅行	旅行
2位	映画鑑賞、ｺﾝｻｰﾄなどの趣味・娯楽	映画鑑賞、ｺﾝｻｰﾄなどの趣味・娯楽
3位	学習・習い事など	運動・スポーツなど自分で行うスポーツ
4位	睡眠、休養	学習・習い事など
5位	運動・スポーツなど自分で行うスポーツ	睡眠、休養

2⑴「未来の東京」戦略 version up 2022（令和４年２月・東京都）

出典:「『未来の東京』戦略 version up2022」（東京都・令和４年２月）をもとに事務局が抜粋及び一部加筆し作成

・都は、令和３年３月「『未来の東京』戦略」を策定し、その実行を通じて、成長と成熟が両立した持続可能な都市の実現を目指している。
・東京２０２０大会が終わり、その実現に向けた歩みを本格的に進める新しいステージに立つ。大会の成果や新型コロナとの厳しい戦い等、時代のニーズや状況変化に対応する観点から政策をバージョンアップし、未来を切り開く取組を加速していく。

バージョンアップの視点

① 東京２０２０大会の成果を都市の発展へつなげる
② 時代のニーズや状況変化に迅速に対応
・新型コロナウイルスの長期化の影響
・世界の都市間競争の激化
・子供の目線からの政策展開の必要性

政策をバージョンアップする６つの切り口

- ①安全安心
- ②共生社会
- ③グリーン＆デジタル
- ④グローバル
- ⑤チルドレンファースト
- ⑥都政の構造改革

①安全安心

・激甚化・頻発化する豪雨から命と暮らしを守る対策を強化する
・切迫する巨大地震等に対して万全の備えを進める
・DX等を活用し、あらゆる自然災害への効果的な対策を推進する
・まちの安全・安心を担う治安対策・対処能力を強化する

・新型コロナに打ち克ち、感染症に強い都市の実現に向けた取組を加速する

・都立・公社病院の改革等を通じて、都民の命と健康を守る医療提供体制を強化する
・東京の危機克服　都市強靭化１０か年プロジェクト

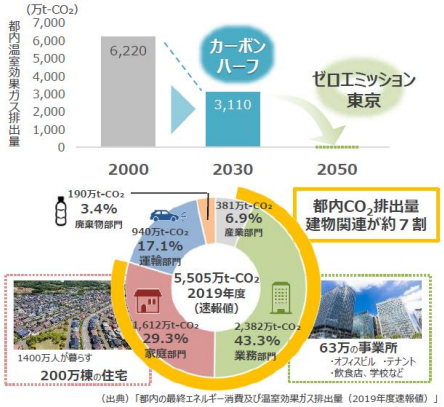
●感染症対策の司令塔「iCDC」の機能を一層強化
●必要な医療に迅速につながる、**保健医療提供体制を構築**
●**社会経済活動を再生・回復**
●感染症対応における構造的課題に向き合い、取組を加速

出典:「『未来の東京』戦略 version up2022」（東京都・令和４年２月）をもとに事務局が抜粋及び一部加筆し作成

③グリーン＆デジタル

- **「２０３０年カーボンハーフ」の実現に向け、政策を総動員する**
- **スマート東京の実現に向け、新たなサービスの実装や基盤整備を加速する**
- 人々に憩いと活力を与える、緑あふれる東京を実現する
- 外濠浄化の推進を契機として「水の都」東京を甦らせる
- **賑わい溢れるウォーカブルな「人中心」のまちづくりを推進する**

「２０３０年カーボンハーフ」の実現に向け、政策を総動員する



（出典）「都内の最終エネルギー消費及び温室効果ガス排出量（2019年度速報値）」

建築物のゼロエミッション化を推進
太陽光発電等の再エネ利活用、高断熱・高効率機器による省エネ

自動車の脱炭素化・水素モビリティを拡大
ＺＥＶ（ゼロエミッションビークル）への転換、充電設備・水素モビリティを拡大

まちづくりを通じてゼロエミ地区を創出
エネルギーマネジメント、再エネ・水素など先端技術の活用

サーキュラーエコノミーへの転換・資源循環を促進
３R・廃プラスチック・食品ロス対策、先進的取組の社会実装

カーボンハーフの実現を支える基盤づくり
グリーン投資の推進、技術開発、人材育成、様々な主体との連携

スマート東京の実現に向け、新たなサービスの実装や基盤整備を加速する

賑わい溢れるウォーカブルな「人中心」のまちづくりを推進する

- 人が歩いて楽しむまちの創出を促進

- 自転車利用環境の更なる充実
【自転車活用推進重点地区】
新宿地区　他２地区

施策例（業務・商業地における自転車活用推進重点地区）

- サイクルポートの導入拡大
- 路外駐車場、荷捌きスペースの確保
- 無電柱化や再開発と連携した自転車通行空間の整備
- 地域と協働した安全対策　等

- 都立公園・海上公園のにぎわい創出
- 既存施設を活用した歩行者空間の創出

- **回遊性を高める広場やデッキの整備**

【新宿駅周辺エリア】
- 線路上空への歩行者デッキ新設等による回遊性を高める整備の実施
- 2022年より西口駅前広場の工事に着手

2 ⑴改定の視点（参考：新宿三丁目駅周辺のまちづくり）@新宿駅東口

※検討中の「（仮称）新宿三丁目駅周辺まちづくり誘導方針（事務局案）」をもとに事務局が抜粋・一部加筆し作成

将来像

新たな出会いと発見の場となる歩いて楽しい交流拠点「新宿追分」
新たな賑わいや文化を創出するまち（Activity）、回遊性の高い歩いて楽しいまち（Walkable）
だれでも受け入れる多様性のあるまち（Diversity）

検討中

方針１　まちと駅がつながる賑わいと交流の拠点をつくる
方針２　界隈性のあるパサージュ空間をつくる
方針３　歩行者優先のまちをつくる
方針４　まちを楽しむ新たなみちをつくる
方針５　安心して過ごせるまちをつくる
方針６　環境に優しいまちをつくる
方針７　新宿全体の魅力を高める最先端なまちをつくる

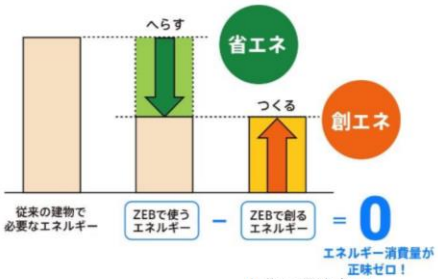
方針６
環境に優しいまちをつくる

環境（ゼロカーボン）

●高水準の環境・エネルギー対策を実装したまちをつくる

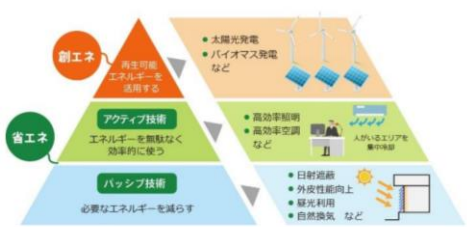
・新宿三丁目駅周辺の拠点では、大規模開発等に合わせて、街区や地区単位で融通する面的エネルギーなど、効率的なエネルギー供給システムを導入する。
・脱炭素社会に向け、大規模開発等は、**最先端の省エネルギー技術、未利用エネルギー、再生可能エネルギー等の導入やZEBの実現**を図る。
・**集約的な駐車施設**や**自転車利用の促進**など、**環境負荷に配慮した交通手段の利用**を促進する。

■ZEBの概念図



出典：環境省HP

■ZEBを実現する技術



出典：環境省HP

方針７
新宿全体の魅力を高める最先端なまちをつくる

デジタル

●自動運転や次世代モビリティで人に優しいまちをつくる

・長期的には、歩行者専用道路では、歩行者を補完する**次世代モビリティ（自動運転グリーンスローモビリティ等）**や、物流の自動化を図る**宅配ロボット**等が低速で走行し、歩車共存できる次世代型の道路空間を目指す。
・駐車場出入口部分における交通混雑の解消に向け、**次世代技術（自動バレーパーキング方式等）を活用**した駐車場のあり方を検討する。

●新しいことに挑戦し、変化し続けるまちをつくる

・地域が主体となって、**新技術を活用した新たな情報発信や防犯対策等**を検討していく。

■新たな情報発信のイメージ

■新たな防犯対策のイメージ

2 ⑴改定の視点（参考：西新宿地区のまちづくり）@新宿駅西口

※検討中の「西新宿地区の再整備の方針案（令和３年度のまとめ）」をもとに事務局が抜粋・一部加筆し作成

将来像 **東京の発展を先導し、人間性と先進性が融合する新たなビジネス交流拠点**

検討中

～世界で最も人が集まる「新宿」に世界で最も居心地が良く活動・過ごせる街にリノベーション～

方針①【ビジネス】
多様なワーカーが交流・挑戦し、新たなビジネスやイノベーションを創出

方針②【オープンスペース】
質の高い緑が感じられ、人が集い、憩えるオープンスペースを形成

方針③【都市インフラ】
自然災害や脱炭素化などの様々なリスクや社会ニーズに対応できる都市インフラの強化

環境（ゼロカーボン）

・災害時においても都市機能が維持される強靭な都市空間を形成
・省エネルギー化とともにリダンダンシー機能を確保し、エリア・エネルギー・マネジメントを実現

取組み例

★遮熱、水の有効利用、雨水貯留など気候変動にも対応する**グリーンインフラ**を導入
★新たな需要への対応や省エネルギー効果を高めるための**プラント新設**や**最適なエネルギー利用を図るブロック化**の推進
★**街区の需要変化に応じたエネルギー供給**が可能なデマンド・レスポンス機能の導入
★業務継続地区のリダンダンシー機能を確保する**エネルギーのネットワーク化**、**自立分散型エネルギーの強化**
★カーボンニュートラル都市ガスや再エネ電力等の**新エネルギーを導入**し、**エリア全体で脱炭素化**を実現

方針④【都市サービス】
デジタルの力でまちのポテンシャルを引き出し、誰もが快適で質の高い生活が送れるスマートシティの実現

デジタル

・歩行者の回遊性を高め、快適に移動ができる次世代モビリティを導入
・５Gと先端技術を活用した都市サービスの都市実装を推進し、都民のQOLを高めるスマート東京を実現

取組み例

★広域的なデータ連携による**MaaSの実装**や**自動運転技術**の導入により、シームレスな交通体系の実現
★既存の駐車場等の活用を検討し、**次世代モビリティ**の乗降所や駐車場等を整備
★様々なデジタル情報が手軽に、身近に取得することができる**５Gアンテナ等を搭載したスマートポール**を整備
★**ビックデータやセンサー等の計測データ**からシミュレーションを行い、その情報を現実空間へフィードバックが可能な**デジタルツイン**を構築
★**自動運転のテスト走行**や**デジタル技術によるアートフェスタ**など、まち全体でDXの先進的な取り組みを支援

方針⑤【エリアマネジメント】
まちに新たな魅力を生み出し、持続的な発展を支えるエリアマネジメントの実現

2 ⑴改定の視点（参考：高田馬場駅周辺エリアのまちづくり）@高田馬場駅周辺

※検討中の「（仮称）高田馬場駅周辺エリアまちづくり方針（案）」（令和４年度策定予定）をもとに事務局が抜粋・一部加筆し作成

まちづくりのコンセプト

誰もが自分の歩幅で成長できる“高田馬場”～バラエティあふれる魅力が　混ざり合い　パワーとなるまち～

検討中

- 誰もが気軽にチャレンジでき、成長できるまちの形成
- 駅・まちをユニバーサルデザインでつなぎ、様々な人々が出会い、交流しやすい駅まち空間の形成
- 安全・安心で快適なまちの形成

■環境

環境（ゼロカーボン）

「ゼロカーボンシティ」実現に向けた取組みの推進

・令和３(2021)年6月5日の「新宿区　ゼロカーボンシティ表明」に掲げた目標の実現に向けて、**断熱性など建物の省エネルギー性能の向上、最先端の省エネルギー技術の導入を図るとともに、再生可能エネルギー設備の導入を推進**します。

■自動車ネットワーク

デジタル

将来の交通環境の変化を踏まえた道路空間の活用の検討

・幹線道路については、将来の交通環境の変化（自動車交通量の減少、**MaaS※の普及**など）を踏まえ、**カーブサイド（路肩）を活用した、賑わい創出**や**次世代モビリティに配慮した空間整備**など、**柔軟な道路空間の活用**に向けた可能性を検討します。

2 ⑴改定の視点（参考：飯田橋駅前地区のまちづくり）@飯田橋駅東口周辺

※検討中の「（仮称）飯田橋駅東口駅前地区基盤整備ビジョン」（令和４年度策定予定）をもとに事務局が抜粋・一部加筆し作成

まちづくりのコンセプト

歴史と暮らし・賑わいが多層に重なり合い　誰もが快適に過ごせる　水とみどりの飯田橋
～住む人・働く人・訪れる人など、子どもから高齢者まで誰にとっても快適なまち～

検討中

- 多層に行きかうことができる　安全で快適な歩行者空間の形成
- 多層に繋がる　賑わいと潤いあふれる空間の創出
- 利便性を活かした都市機能の充実

■環境

環境（ゼロカーボン）

ゼロカーボンシティの実現に向けた、環境に配慮した取組の促進

・太陽光発電、バイオマス発電などの最先端技術の導入
・高効率機器、コージェネレーション設備、建物の高断熱化、**ZEBなどの導入**

■歩行者ネットワーク

デジタル

地区内及び周辺地域との連携による回遊性の強化

・周辺地域と連携した、円滑な移動を補助する**次世代技術の活用**の検討（**モビリティポートの整備**、**先進モビリティ技術の導入**など）